

No. 41

発行/奈良市議会だより
編集/奈良市議会だより
編集委員



〒630 奈良市二条大路南1-1
奈良市議会議務局
☎ (0742) 34-4734



新春の太陽を受けて走る平城京元且マラソン (平城宮跡で)

初日の招集あいさつで市長は、まず、関西国際空港開港記念事業として開かれた世界観光大臣会議に合わせ、去

十二月定例会

平成六年十二月定例会は、十二月二日から十六日までの十五日間の会期で開きました。今定例会では、平成五年度一般会計及び十特別会計決算の認定についての報告一件と助役の選任、教育委員会の委員の任命、ボランティアセンター条例の制定など議案二十九件をすべて原案どおり可決しました。

五年度一般会計特別会計決算を認定 議案二十九件も原案どおり可決

平成六年十二月定例会は、十二月二日から十六日までの十五日間の会期で開きました。今定例会では、平成五年度一般会計及び十特別会計決算の認定についての報告一件と助役の選任、教育委員会の委員の任命、ボランティアセンター条例の制定など議案二十九件をすべて原案どおり可決しました。

政治倫理条例検討 特別委員会中間報告

5 大 相違
本委員会では、平成五年六月二十五日に、政治倫理条例の制定についてなど、五議案の審査の付託を受けました。委員会は、延べ八日間開催し、他都市の状況等必要な資料の収集や先進都市佐賀市へ

加を得て、東西間の文化交流などを求める奈良観光宣言を採択し、成功裏に終えた。また、去る十一月十五日に奈良を訪問の朴光熙韓国慶州市長、張慶春慶州奈良友好親善協会会長に特別名誉市民章を贈呈し、両国、両市のより一層のきずなを深めた。さらに、中国西安市と慶州市との友好都市締結が西安市で行われるのに際し、両市長から立ち合いの要請を受け、

制度については、三議案に規定があり、うち一議案は、政治倫理基準、暴力団等との癒着禁止等の規定もあるなど、五議案にはさまざまな相違点があります。他都市の状況についてみると、平成五年十月一日現在の調査では、二十一市で制定されており、制定に至った経緯は、選挙違反や贈収賄等汚職事件によるものが十市となっています。条例の内容は、適用範囲を議員、市長を対象にした市が十市、市長のみ三市、議員のみ一市、その他議員と二役、水道事業管理者、教育長等を含めた市と多岐に及んでいます。また、資産公開を規定している市が十九市、審

例検討特別委員会で継続審査中の議会議案五件について、委員長から現在までの審査経過の中間報告(別掲)がありました。また、七人の議員が質疑・一般質問(要旨は二・三面に掲載)を行い、平成五年度歳入歳出決算の認定については、十五人で構成する決算特別委員会を設置して審査を行いました。市長から提案された報告一

件、議案二十九件はすべて原案どおり可決しました。このうち、人事案件では、平成五年十二月から療養中の辰野助役が十二月十五日付で退職したことに伴い、水道事業管理者の山中俊彦氏を後任の助役に選任することを、また十二月二日付で辞職した教育委員会の委員の喜多野邦夫氏、小清水弘一氏の後任に藤本真典氏、青山茂氏を任命することに同意しました。

決算額を差し引いた形式収支から繰越事業に伴う翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は、三十二億五千九百七十六万七千七百円、歳出千五百一十一億六千四百九十九万四千円、歳入決算額から歳出

公債費比率は16.7%に上昇
平成五年度歳入歳出決算の状況は、下表のとおりで、一般会計及び十特別会計の総計決算額は、歳入千五百七十七億四千九百九十九万四千円、歳出千五百一十一億六千四百九十九万四千円、歳入決算額から歳出

実質収支32億円の黒字
平成五年度歳入歳出決算の状況は、下表のとおりで、一般会計及び十特別会計の総計決算額は、歳入千五百七十七億四千九百九十九万四千円、歳出千五百一十一億六千四百九十九万四千円、歳入決算額から歳出

Table with 5 columns: 区, 分, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支. Rows include 一般会計, 特別会計, 合計.

5年度決算の状況 (単位:千円)

陳情
今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
▽平城ニュータウン地区市立図書館設置に関する陳情書
陳情者 朱後自治連合会会長 瀧村幸男氏外四名
▽公文書の点字化及び点字による申請手続に関する陳情書
陳情者 奈良県視力障害者(児)の生活を守る会 柿本一志氏

答 弁

中・長期的 財政見通しは

問 高齢者に対する諸施策、少子化傾向の進展等への施策

答 中・長期的な事業は、市民が抱く夢の実現に向けて決意をもって予算編成に臨みたい。

問 平成五年度決算は公債費比率が大幅に上昇している。どう評価し、来年度予算編成にどう対応するのか。また、地方債残高九百二十二億五千万円、債務負担行為額も九十六億円あり、将来の財政硬直化は避けられない状況にある。財政状況が好転するまで、JR奈良駅前の市民ホールな

財 政

公債費比率上昇 財政硬直化の兆し

どの大型事業を凍結すべきではないか。また、今後つくる行政改革大綱でその他の大型公共事業を重点的に見直さないか。

問 平成五年度決算は公債費比率が大幅に上昇している。どう評価し、来年度予算編成にどう対応するのか。また、地方債残高九百二十二億五千万円、債務負担行為額も九十六億円あり、将来の財政硬直化は避けられない状況にある。財政状況が好転するまで、JR奈良駅前の市民ホールな

本会議

厳しい財政運営にどう対処 決算財務分析比率が示す

十二月六日、七日に開かれた本会議では七人の議員が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、平成五年度歳入歳出の決算状況、財務分析比率から見た今後の財政運営や、行政姿勢、国際交流などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

行政姿勢

情報公開 八年度に条例化 懇話会の意見を参考に

問 情報公開条例の理念、公開の範囲、公文書館の設置

答 新総合計画の中に財政的なるものを勘案し、そういう事業等を盛り込んで推進を図っているが、経済情勢の関係で

問 固定資産税評価額が地価公示の七割に引き上げられた。四倍の評価額を市民にどう説明するのか。評価基準が大ざっぱではないか。課税台帳縦覧後の価格等の修正件数は何件か。

地価公示の七割で四倍に 固定資産税の評価替え

問 ある人が、鉢伏町の近くにある紀寺町の飛び地を相続した。法務局の公図にもなく、また税務署の資料でも飛び地の表示がなかった。このため、本来なら申告不要の土地であったにもかかわらず、紀寺町の評価で平成四年に約千六百万円という多額の相続税の申告をしてしまった。更正の請求も一年が限度で救済されない。他の飛び地で正しく掌握されているところもあるが、このように放置されているところもある。

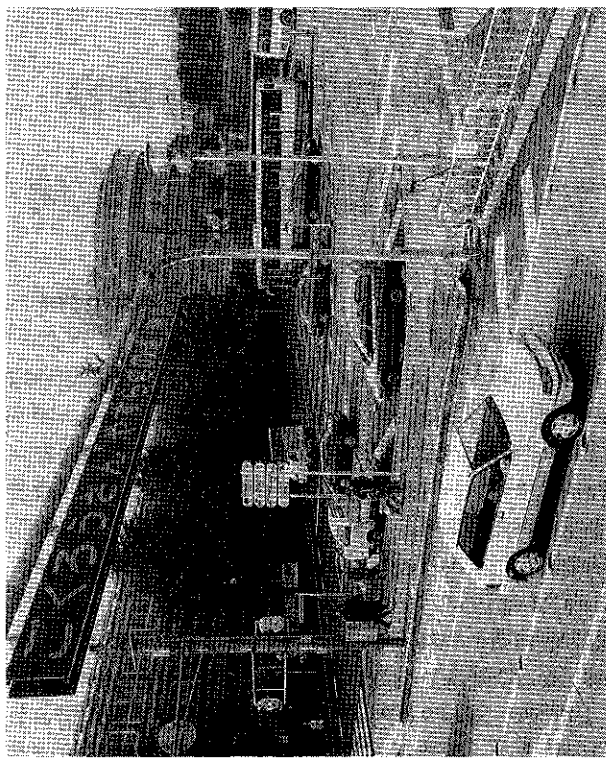
問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も

問 学園前駅南再開発事業の抜本的見直し作業は進められているのか。地元住民との合意形成は。また、再開発ビルの文化的施設と駅の南北

問 再開発事業は、平成四年一月に計画決定を行ったが経済状況の変化に伴い、施設規模の縮小など事業全般を見直さざるを得ない。今後、地権者、関係機関と調整、協議を行い、合意形成を図りたい。また、出張所も同居させ市民の便を図りたい。

問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も

問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も



国際交流

奈良観光宣言でアピール 世界観光大臣奈良会議

問 世界観光大臣奈良会議の成果と今後の展望は。また、こうした国際交流を進める上での国際交流課の設置の考えと、国際交流センターの進捗状況は。

再開発

再開発ビルは多目的に 公民館には託児所も

問 学園前駅南再開発事業の抜本的見直し作業は進められているのか。地元住民との合意形成は。また、再開発ビルの文化的施設と駅の南北

問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も

問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も

問 再開発ビルは多目的に
公民館には託児所も

質問と

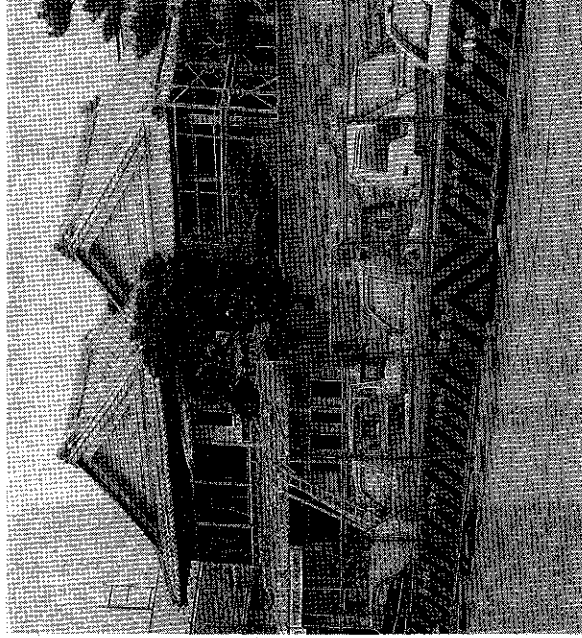
都市整備

ならまちにふさわしい建物 全面改修の旧苗加邸

問 井上町にある旧苗加(のうか)邸の修復と仮称大乗院サロンの進捗状況、今後の活用について、また、楽人長屋の土塀を復元する考えは。

答 旧苗加邸は、ならまち

にふさわしい建物で全面的な修理を進めている。ここにならまち振興財団や国際ボランティアの事務所を置き、奈良に來られた方の通訳やホームステイなど国際的な対応もでき



改修が進む旧苗加邸(井上町)

観光客の交通渋滞 駐車場が少ない

問 観光シーズンの土曜日休日の奈良公園を中心とする交通渋滞は、市民生活にも著しい影響を与えている。原因は駐車場が少ないこと、観光客が奈良へ車で來ることにある。対処策は。

また、ノーマイカーデーの市内の企業や周辺自治体への働きかけは。

答 駐車場対策については、市では、ならまちセンター駐車場を、県では登大路、大仏前、高畑駐車場を設置してい

三條通りに公園

問 市が三條通りに所有する朝日新聞社跡地に、周辺地域の活性化が図れる特色ある公園が望まれる。市の考えは。

きるものとした。大乗院サロンについては、大乗院庭園を管理している財団法人ナショナルトラストに建設していたが、庭園と一体となったものとし、大乗院の資料や市民の方々の美術展示を行い、ならまちを散策される方々の休憩の場とした。

楽人長屋の土塀については、できることなら復元したい。

また、パーク・アンド・ライド方式や、高天交差点での公営駐車場の「溝」「空」電光表示による誘導等も進めている。さらに、ならまちセンター駐車場の増設、新たな駐車場用地の確保のため、地元との調整を進めている。交通状況の改善のために関係機関との協議を行い、より安全な交通対策を推進できるように努めたい。

葬儀のできる集会所に 財政的援助を

問 昭和六十二年、六十二年に公民館運営審議会から、地域の地理的状況や歴史的背景があり、葬儀をしている分館については今後利用できるように施設整備をすること。また、利用者の多いあやめ池分館、大和町分館に嘱託管理人を置くこと等の中間報告と答申がなされている。どのように検討を加えられたのか。

当面 葬儀のできる場所がない地域の集会所建設に、財政的補助を積極的に行うべき

答 整備計画では、観光客や市民が集い触れ合う場としての公園整備を考えている。現所在地元と協議を行い実施計画を調整している。早急に具体化を図り着工したい。

教育

活性化に不可欠 広域道路建設

問 東部地域と市街地を結ぶ国道三六九号線の中ノ川バイパス建設についての今日までの協議経過、並びに名阪と

東部地域の定住化を県の新総合計画に盛り込んでいただくよう協議したい。

なお、地域の開発には何よりも上下水道の整備を促進しなければと考えており、上下水道整備は、早期に完成すべく計画見直しを行っている。

国道二六三号線を結ぶ広域農道計画について聞きたい。

答 東部地域の活性化を図る上で広域道路の建設は重要な課題と認識している。三六九号線のバイパスについては、今日まで、国、県、木津町と協議をしてきた。早期完成のため鋭意努力をしたい。また、広域農道については、平成三年度に陳情書も出されており、地域活性化には不可欠との認識で推進に取り組んできた。県施行の事業でもあり、今後さらに県とも協議を進め、調査研究など応分の負担も、促進に努めたい。

環境清美

市民の協力得難い ごみ焼却炉更新計画

問 再生资源としてのプラスチック、発泡スチロールの分別収集並びに、大型ごみのリクエスト収集についての考

答 地区公民館の中学校区単位の整備は、一応終わり、小学校区単位でも一部手がけて

ではないか。

いる。公民館ということになると制約もあり、集合住宅の多いところでは、冠婚葬祭のできる場所にも困っておられるので、公民館にするか、集

会所にするかは検討中である。管理人の配置は、施設面、人的配置、財政面等を総合的に検討したが、現時点では無理である。

えは、また、ごみ焼却炉の更新計画は。

答 現在は、可燃・不燃に分け収集をし、さらにモデル地域では缶、びんの分別収集もしている。今後は缶、びんに加え、三種類、五種類の分別収集もやっていかねばならないと考えている。

また、大型ごみのリクエスト方式についてはいろいろな

福祉

ボランティア育成 助成への決意は

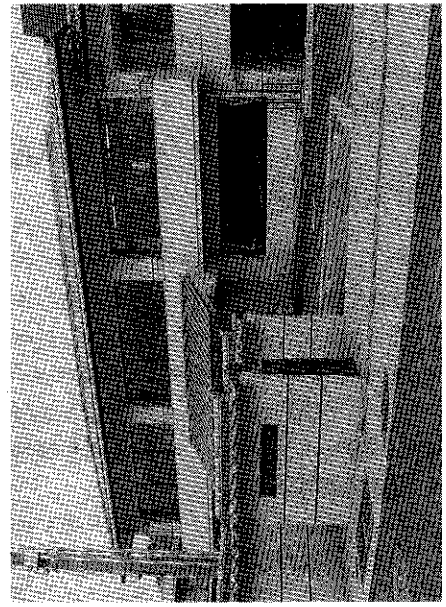
問 現況、受託施設の管理運営が主たる事業の観がある市社会福祉協議会の組織、機能の充実を図るため、抜本的改革が必要ではないか。

また、ボランティアセンターの完成に伴うボランティアの育成や助成への決意は。

答 社会福祉協議会は、地域福祉の充実を図っていかねばならない。これからは、法的なものは市の福祉部で、それ以外のきめ細かい社会福

祉の充実、社会福祉協議会が地域と一体となって進めていかなければならない。協議会の組織、機能の充実については、早期に検討を加えていかなければと考えている。

ボランティア活動の育成、助成については、基金の利息をボランティア活動資金に充てるボランティア基金が二億三千万円ある。現在は低利なので、それをカバーするため市からの繰り出しや助成等に



オーブーン間近な市ボランティアセンター(法蓮町)

よって、ボランティアセンターの運営、活動に寄与したい。

二歳児まで拡大検討 乳児医療費助成制度

問 さきの議会で乳児医療や老人医療などの入院時食事をボランティア基金が二億三千万円ある。現在は低利なので、それをカバーするため市からの繰り出しや助成等に

また乳児医療費を三歳まで無料化する考えはないか。

答 入院時の食費一部負担の導入は、在宅者と入院患者の負担の公平を図るものである。代替策は福祉のまちづくりの条例化、ホームヘルプサービスの充実など、それら対象の方々に平等に生きがいを持っていただける施策を進めていきたいと考えている。

また乳児医療費助成制度は現在零歳児を対象にしているが、少子化対策の一つとして所得制限つきで二歳児までの拡大を検討したい。

決算特別委員会の審査概要

平成五年度一般会計及び下水道事業費特別会計外九特別会計決算の認定について、審査の付託を受けた決算特別委員会は、十二月八日、十二日、十三日、十四日の四日間開催し審査した結果、いずれも認定すべきものと決定しました。以下は委員会審査の主な内容です。

実質収支黒字要因

問 実質収支額が約三十二億六千万円の黒字決算となった要因は。

答 一般会計では、歳入で市税が予算に比し伸びたことや、地方譲与税等の増等があった。また歳出で、投資的経費等の入札減(予算額と落札額との差)や各経費の節減合理化等による不用額が生じた。これらにより、約二十八億九千二百万円の黒字となった。また国民健康保険特別会計の財政調整交付金の増や、前年度繰越金で黒字が生じたことなど、特別会計全体で約三億六千七百万円の黒字となった。

市民税は標準税率

問 個人市民税が他市より高いとの誤解がある。広報が必要ではないか。

答 本市の個人市民税所得割は昭和四十四年から標準税率を適用し全国的にも同じである。均等割は人口五十万人以上の都市よりも五百円低い。市民だより等でPRしたい。

公債費比率上昇

問 公債費比率が一六・七

%と対前年度比二・七ポイント上昇した要因と今後の推移は。

答 市民税がバブル崩壊等の影響で大きく減少したこと、普通交付税が不交付になったこと、JR奈良駅周辺整備事業による都市開発資金の元金償還の開始、公共事業の促進等による地方債発行額の増加等が主な要因である。経済の好転により市税が伸びれば、比率の低下も考えられる。

東部の土地利用

問 東部地域の土地利用の状況と住宅開発の考え方は。

答 大規模開発に関する基本方針により今日まで対応してきた。しかし、現実には人が住み、周囲の状況の変化の中で、豊かな自然を守る意味からも乱開発は認められないが、定住化問題については検討課題として取り組むべき範囲である。県の総合計画との整合を図り、県との事前協議を得た中で、一定の結論を出していきたい。

給食の食器改善

問 学校給食の食器改善は。

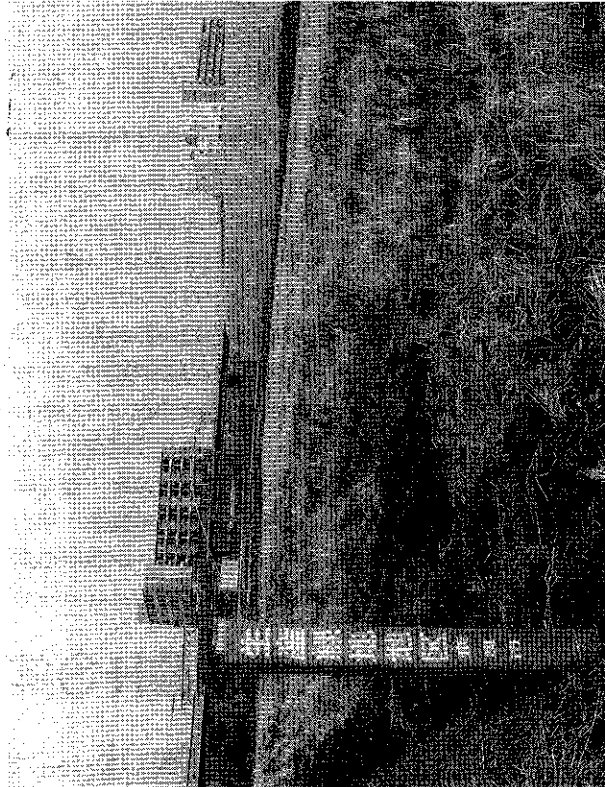
答 長年アルマイトの食器を使っているが、五年六月に

委員会を設置して食器改善の検討を進めており、できれば平成六年度中にまとめたい。

生産緑地の追加は

問 生産緑地の追加指定の検討、計画的な緑地保全及び宅地化の方策等は。

答 追加指定は、市街化区域が新たに拡大する部分でしか認めていない。宅地化農地を自指していた者と生産緑地として指定していた者の相反



近付町農地(大森町)に指定されている生産緑地

決算特別委員

- 委員長 松田 未作
- 副委員長 福住 皓之亮
- 幹事 宍明 森 純男
- 山口 誠 大井 国崇
- 岩城 明 中村 篤子
- 吉田 文彦 堀田 征男
- 西岡 豊孝 樹杉 和彦
- 横田 利孝 小嶋 高年
- 橋本 和信

安易な随意契約

問 指名競争入札の参加制限を受けた業者から、なぜ物品を購入していたのか。

答 物品購入が安易に随意契約でなされ、発注業者にも偏りが見られるのではないかと。当初、処分が随意契約による物品購入にまで及ばないとの判断をしたが、各課の

購入状況等を調査し、検討の結果、主務課長あてに当該業者の処分内容及び物品購入の際に十分留意する旨の通知をした。

市立保健所の設置

問 平成九年度から、三歳児健診等を市で実施することから、市立保健所を設置してはどうか。

答 中核都市の指定がされていないので、保健所の設置義務は適用除外となる。三歳児健診等は医師会へ委託する業務が主であるが、その受け皿づくり、人材確保等について、移行が円滑に行えるよう検討している。国の補助金等の問題もあり、県とともに慎重に対応したい。

和楽園の建てかえ

問 和楽園の建てかえの進捗状況は。

答 今議会において用地取得の同意をいただき、平成九年完成をめどに造成工事に着手する。

不登校早期発見

問 不登校の早期発見・予防のためには事態把握が必要ではないか。

答 各小、中学校から毎月連続七日以上欠席している児童、生徒の報告を受け、これをもとにコンピューターで不

私服化の流れ

問 学校における私服への今日の流れは。

答 校則に属することから、学校長の裁量の範囲である。私服化の実施は、生徒、保護者、学校の三者間による合意

大和中央道の整備

問 大和中央道の整備で、現在の事業区間から南側についても事業認可を得て、集中的に行うべきではないか。

答 事業認可は現在の区間の見通しが立たなければ次にかかれない。事業の早期進捗のため、公社による先行取得も併用して行っている状況である。今後積極的に認承の関係についても努力したい。

和楽園の建てかえ

問 和楽園の建てかえの進捗状況は。

答 今議会において用地取得の同意をいただき、平成九年完成をめどに造成工事に着手する。

不登校早期発見

問 不登校の早期発見・予防のためには事態把握が必要ではないか。

答 各小、中学校から毎月連続七日以上欠席している児童、生徒の報告を受け、これをもとにコンピューターで不

私服化の流れ

問 学校における私服への今日の流れは。

答 校則に属することから、学校長の裁量の範囲である。私服化の実施は、生徒、保護者、学校の三者間による合意

その他の12月議会決まったこと

- ▽市の議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正
 - ・新聞折り込み等による選挙公報の配布
 - ・選挙公報の掲載文の申請等の時間の設定
- ▽市下水道条例及び市水道事業給水条例の一部改正
 - 市長の承認を受けずに排水設備の新設等を行った者に対する過料を五万円以下に、公共下水道の使用開始等の届出等をしなかった者に対する過料
- ▽市ボランティアセンター条例の制定
 - ボランティアセンターの設置及び管理についての条例措置
- ▽市老人福祉センター条例の一部改正
 - ・東老春の家講座室新設による使用料の設定
- ▽財産の取得
 - ・ガスクロマトグラフ質量分析装置の取得
 - ・老人ホーム建設事業用地の取得
- ▽市ボランティアセンター条例の制定
 - を一万円以下に、給水の濫用等を行った者に対する過料を五万円以下に引き上げ

良市議会公明議員団」に変更されました。

議(会)日(誌)

- ☆十月
 - 7日 議会だより編集委員会
 - 31日 総務財政委員会
- ☆十一月
 - 1日 議会だより第40号発行
 - 2日 経済水道委員会
 - 9日 教育厚生委員会
 - 21日 都市基盤整備特別委員会
 - 22日 企画建設委員会
 - 24日 政治倫理条例検討特別委員会
 - 25日 内不会
 - 〃 幹事長会
 - 〃 議会運営委員会
- ☆十二月
 - 2日 本会議(十二月定例会開会)
 - 6日 本会議
 - 7日 本会議
 - 8日 本会議
 - 12日 本会議
 - 13日 決算特別委員会
 - 14日 本会議
 - 16日 本会議(十二月定例会開会)

編集後記

一面には一月一日の朝、平城宮跡で行われた「平城京元日マラソン大会」(市陸上競技協会、奈良市民走ろう会主催)の写真を掲載しました。今年で十一回目のこの大会には他府県からのランナーも参加、すっかり元旦の恒例行事となってきました。参加者約六百人は年齢別に一*、五*、十*の三部に分かれ、健脚を披露。小学生と一緒に走る母親のはは笑ましい姿もあり、全員マイペースの走り初めを楽しんでいました。

国保料引き下げを

問 国民健康保険特別会計の剰余金で保険料を引き下げるときではないか。

答 実質単年度収支は赤字であり、また、被保険者世帯の約七〇%が年間所得二百万円以下で、景気にも左右されるなど非常に弱い状況である。さらに、医療費は予測しがたい面もあるので、剰余金は留保したい。

会派名の変更

「奈良市議会公明党」の会派名が、十二月五日付で「奈